

図書館サポーター推薦

# 小説特集

Novel Recommendations

by Library Supporters



図書タイトル / 著者
所在 & 請求記号
推薦文

地獄変・邪宗門・好色・藪の中 : 他七篇 / 芥川竜之介作
大岡山: B1F-文庫・新書 080/lc/70
表題に載っている「好色」は、一度会ったら必ず虜にしてみせると言ってしまう程、恋愛エキスパートである主人公がただ一人振り向かせることのできない女性に悶々としてしまうお話。主人公の悶々としている様子が面白いです。 どれも古臭くなくて、読みやすいのでおすすめです。

伊豆の踊子・温泉宿 : 他四篇 / 川端康成作
大岡山: B1F-文庫・新書 080/lc/81
いわゆる「昔読んだとき全然面白くなかったけど、今読んでみたら面白い」本です。「伊豆の踊子」が有名ですが「16歳の日記」がおすすめ。文豪は少年時代から文章が上手く驚きます。

江戸川乱歩短篇集 / 千葉俊二編
大岡山: B1F-文庫・新書 080/lc/181, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/E
今なお多くの人々に親しまれている江戸川乱歩の作品をいくつか集めた内容になっています。短編集ということで空いた時間をつぶすにはもってこいの一冊だと思います。

タイム・マシン : 他九篇 / H.G.ウエルズ作 ; 橋本楨矩訳
大岡山: B1F-文庫・新書 080/le/276
ウエルズのSF短編集です。表題作のタイム・マシンは、この手の作品によくある近い未来や少し昔にタイムスリップするのではなく80万年後の地球までタイムスリップします。ウエルズの面白いアイデアが光る作品です。

車輪の下 / ヘルマン・ヘッセ作 ; 実吉捷郎訳
大岡山: B1F-文庫・新書 080/le/435
この本は自分が高校生の時に課題図書として授業で取り上げられた本ですが、大学生になってから読んでみると当時とはまた違う印象を持つように感じました。読んだことのある人も、初めて手に取るという人にも、新たな発見をもたらす一冊になると思います。

地底旅行 / ジュール・ヴェルヌ作 ; 朝比奈弘治訳

大岡山: B1F-文庫・新書 080/le/569

内容は地球内部の中心へ向かって旅をするという空想的な冒険小説であるが、物語でありながらも科学的であろうとする姿勢が、単なるファンタジーと違って面白い。

モンテ・クリスト伯 / アレクサンドル・デュマ作 ; 山内義雄訳

大岡山: B1F-文庫・新書 080/le/533

卑劣な裏切りと欺きによって我が身を貶めた者へ、完膚なきまでの復讐を。苦しむ高潔な魂には正当な救いを。自身の結婚式の場で捕えられ、無実の罪によりその14年間に牢獄に捧げた主人公エドモン・ダンテスは囚人の神父に導かれあらゆる教養の光によって生まれかわる。脱獄した彼は神父の残した莫大な富を得、長い準備の年月の後に、かつての友や敵のもとにモンテ・クリスト伯として姿を現す……。

Robinson Crusoe / by Daniel Defoe ; with introduction by Lora B. Peck ; color illustrations by Edward F. Cortese

大岡山: B1F-一般図書 908.3/C/A10

These days, people enjoying camping as their hobby are increasing than ever. Since we live in a convenient city, we can buy almost every thing we need. We are almost forgetting to make something in our daily lives. But our genes never forget the joy of creating whatever we need, and improving our quality of life - that human beings have done for thousands of years. This book reminds you what we are, and give us an inspiration to live vibrantly.

大都市生活を送る人の中でキャンプを趣味にする人が増えています。ほしいものはなんでも買えてしまう現代人にとって、大自然に飛び込んで手を動かし、住処を作り、焚き火をし、空腹の中でワイルドなものを食べることは、不自由であるからこそ満ち足りたけいけんなのでしょう。ロビンソンとともに無人島に漂流し、みなさんも生きることについて再確認してみませんか、英語版で。

ニングルの森 : 悠久なるものへ / 倉本聰著 ; 黒田征太郎画

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 3F-一般図書 909.3/ku

北の大地に住む小さな人、ニングルの目を通して見る私たちの人間社会は、新鮮な驚きにあふれています。でもそれは、科学と日々向き合う者として、忘れてはいけない感覚なのかもしれません。とても短くすぐに読めるので、ちょっとした気分転換にもおすすめです。

桐島、部活やめるってよ / 朝井リョウ著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/A

高校生のリアルな人間関係が描かれている青春小説です。自分が過ごした高校生活とは少し違うという方もいると思いますが、著者が描き出す繊細で的確な思春期特有の興奮、悩みは共感できる面があると思います。懐かしさを感じながらも、登場人物のストレートな感情が心に響く作品です。

蒼穹の昴 / 浅田次郎著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/A/1, 913.6/A/2

この小説を脚本にしたTVドラマは中国で大人気を集めた。本で描かれた清末の時代の歴史背景と一生懸命生きている主人公が印象的だった。どんな逆境にあったとしても、頑張っている強さを学んだ。

ハッピー・バースディ / 新井素子著

大岡山: B1F-一般図書 913.6/A

夫に依存気味の主婦であり作家である「あきら」と大学受験に失敗し東京で浪人生活を送る「裕司」。些細なことからあきらに憎しみを転嫁させた裕司が小さな嫌がらせをし、そこから日常は歪み始める。物語から香る狂気にぞくりとさせられるのではないのでしょうか。

号泣する準備はできていた / 江國香織著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/E

表題作「号泣する準備はできていた」や他短編12編が、幸せだと思っていた日常が少しずつ静かに壊れていく様子、そしてそれに立ち向かう強さを描いている。第130回(平成15年度下半期)直木賞受賞作。

スイートリトルライズ / 江國香織著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/E

はたから見ると理想の夫婦に見える聡と瑠璃子であったが、瑠璃子は寂しさを感じて年下の男に恋をしてしまう。「恋をしているの。本当は夫だけを愛していたいの。」という瑠璃子の言葉が印象的な作品。

手紙 / 東野圭吾著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/H

強盗殺人を犯してしまった兄剛志とその弟直貴を中心に描かれている。直貴のもとには剛志から毎月手紙が届くが、直貴を殺人者の弟という事実が付きまとい悩ます。兄弟の絆、連帯責任ということを考えさせられる作品である。

強盗殺人の罪で服役中の兄から、弟・直貴のもとには、獄中から月に一度、手紙が届く。殺人強盗犯の兄を持つ弟の苦悩と決断を描いた物語。犯罪者の家族は差別されて当然なのか、差別されないべきなのか、考えながら読んでください。2006年に映画化もされています。

片想い / 東野圭吾著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/H

主人公は「ジェンダーの問題」を抱え、30年間生きてきた。人生の中で認められなかった出会い、仲間との付き合い、社会問題などが多く描かれた。極レアなケースだが、その状況であるからこそ思いやりと友情の重要性をもう一回認識できる。

白夜行 / 東野圭吾著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/H

1970年代に大阪で起きた質屋殺しに端を発する男女の半生を描いた長編サスペンス。登場人物の心理描写がなく事実が淡々と述べられているのが特徴で、読み手次第ではいかようにも解釈できる。そのため、何度読んでも楽しめる。これまでにドラマ化や映画化されている傑作人気小説である。

Missing / 本多孝好著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/H

「このミステリーがすごい! 2000年版」のベスト10に選ばれた短編集である。五つの切ない小説で構成され、何れも哀しい気持ちで満ちている。どうしようもない悲しみを感じながらも、一生懸命生きていかなきゃと思えるようになった。

東京大地震 M8 / 生田直親著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/1

本小説は東京を舞台に、M8の地震が起きた時の様子を描いている。豊富なデータや地域情報は、その場で実際起こった臨場感を与えてくれる。明日に起きてもおかしくないほどの大地震を前にして、みなさんはもう準備したのだろうか？

ひかりの剣 / 海堂尊著

すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/ka

医学部リーグを舞台にした剣道青春小説です。やはり筆者が剣道経験者だけあって剣道の試合描写がすばらしいです。一瞬の内に勝敗が決まってしまうがゆえの間合いの探り合いや読みあいの駆け引きが面白いと思います。他の海堂尊作品を知っていれば更に楽しめます。

塩狩峠 ; 道ありき / 三浦綾子著 ; 三浦光世選

すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/M/3

一時期は「氷点」を上回る発行部数を誇った「塩狩峠」と筆者自身の自伝的小説「道ありき」を収録している。断っておくと、筆者の作品は往々にしてキリスト教信仰を基礎としている。しかし特定の宗教であることを割り引いて考えても、普遍的な生き方として学ぶことが多い作品である。また、純粹に感動的な小説としても楽しめる。ちなみに、巻末で創作秘話として、当時の筆者の状況等が書かれている。

1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel / 村上春樹著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫  
913.6/M/1, 913.6/M/2, 913.6/M/3

1984年で生活していた二人の主人公がそれぞれ1Q84年の世界に入り込み、様々なことに遭遇した話です。ストーリーの展開はとても面白く、読む価値があるシリーズです。

工学部・水柿助教授の日常 / 森博嗣著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/M

国立大学の助教授の水柿君の日常を綴った物語。水柿君のまわりでは小さな謎やおかしなことがおきている。その謎を解いたり、解かなかったりする物語。

そして二人だけになった / 森博嗣著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/M

大きな海峡大橋を支える柱の中に内密に作られたバルブと呼ばれる空間。そこに天才科学者や建築家など6人が集まった。プログラムの異常により密室になったバルブで次々殺人が起こる。犯人はだれなのか?自分が信じている世界に対して考えさせられる作品。

夜は短し歩けよ乙女 / 森見登美彦著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/M

京都を舞台として、大学生が繰り広げる奇想天外なラブコメディです。天狗と知り合いになったり、学園祭には移動する章駄天コタツが登場したりと荒唐無稽!だけど、軽快な文章でどんどん読めて、思わず、ぷっつと笑ってしまいます。

森見登美彦の世界とでも言えるような、不思議な世界と文章です。私と先輩の距離や行動にきゅんとできる話です。もし、京都に行ったことがあれば、より風景が目には浮かんでくると思います。(作品自体は夏の話だけではありませんが)夏が近づくじめとした季節に読みたいと思える本です。

京都を舞台としたまったり恋愛(?)小説です。文体もストーリーもかなり不思議で、好みが分かれると思いますが、私はだいぶハマりました。次々と起こる奇想天外な出来事に、巧みな言葉遊びがあいまってかなり独特な雰囲気に取り込まれます。読むと京都に行きたくなること間違いなしです。

博士の愛した数式 / 小川洋子著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/0

かつて数学者だった80分しか記憶が持たない博士と、家政婦の「わたし」と「わたし」の息子との家族のようなふれあいを描いている。ストーリーはもちろんのこと、本の各所にちりばめられたさまざまな数式をみて楽しむのもよいかもかもしれない。

理系学生は数学が好きか?これは非常に悩ましい問題です。受験勉強を潜り抜けた学生の中には、数学なんかダ〜イ嫌いという方も少なくないかもしれません。物語ではかつてケンブリッジ大学に留学までしていたという数学の天才博士と、数学とは全く縁のない若い家政婦さんの交流が描かれています。天才博士が言葉として話す数学は意外なほどやさしく、純粋に面白く深遠で、こんな先生に数学を習いたかったなと思わされます。80分しか記憶が持たない博士と家政婦さんの切なくもさわやかな物語を通して、みなさんも数の不思議の世界へダイブしてみませんか。

事故で記憶力を失った数学者と家政婦母子とのふれあいを描いた静かで温かな物語。はじめ博士とのコミュニケーションは困難かつぎこちないものであったが、息子の登場をきっかけに関係が変わっていく。難しい数学は出てこないのが、文系の人にもお勧めである。芥川賞作家が描く感動小説。

私の男 / 桜庭一樹著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/Sa

ドロドロとした暗い話であるのに、話が進むたびに、様々な事実がわかってくるため、もっと先を読みたい、と思える話です。心の中に、気持ち悪さは残りつつも、何故か納得できてしまう話です。

定本岳物語 / 椎名誠著

すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/Si

この本ではプロレスと釣りが大好きなシーナ家の長男・岳の成長が描かれています。さらに、その内容は親子の愉快で、そして美しい愛情物語です。また、その軽妙さに時が経つのも忘れ、どんどん読み進んでいけます。国語の教科書で読んだことがある人がいるかもしれませんが、再度読むとまた感じ方が違うでしょう。

十字架 / 重松清著

大岡山: B1F-一般図書 913.6/Si

背負っていかなければならないものは何でしょう。背負っていたものをおろしたとき、本当に背中では軽くなるのでしょうか。優しくて厳しい、重松さんの書く物語を読んだことのある人もない人もぜひ一度手に取ってみてください。

ビタミンF / 重松清著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 3F-一般図書 913.6/Si

心のビタミンになるような小説を筆者は紡ぎました。Family, Father, Friend, Fight, Fragile, Fortune...これらの頭文字をとって「ビタミンF」というタイトルが付けられています。7つの短編からなり、どれも読みやすいものばかりです。少し空いた時間に休憩がてら読んでみてはいかがでしょう。

ツナグ / 辻村深月著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/Tu

一生に一度だけ、死んでしまった人に会えるとしたら、あなたは どうしますか?  
使者(ツナグ)を介して、逝ってしまった大切な人に会ったとき、残された彼らの人生はどう変わっていくのか。単なる感動では終わらない、心揺さぶられる物語として、自信を持ってお勧めします。

キッチン / 吉本ばなな著

大岡山: B1F-一般図書, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/Y

精いっぱい必死で生きて、うちのめされて、誰かと出会ってまた歩き出す。本当につらいことがあった時、あなたは どう乗り越えますか?手を差し伸べてくれる人はいますか?唯一の身寄りだった祖母を亡くしたみかげは、自宅の中で安心して眠れる場所を求めうちキッチンにたどり着く。苦難と克服を問いかけるほっこり切ない吉本ばななの処女作品集。

夏目漱石集 / 夏目漱石著

すずかけ台: 3F-一般図書 918.6/Ti/A12, 918.6/Ti/A13

この本は「吾輩は猫である」のような日本文学史上でも有名な作品で構成されている。作者は豊富な語彙や知識を利用し、独特な世界観を描いた。最近、あまり古典的な作品に触れていない人には是非お勧め!

項羽と劉邦 / 司馬遼太郎著

大岡山: B1F-一般図書 918.68/Si/F45

すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 913.6/Si/1, 913.6/Si/2, 913.6/Si/3

紀元前200年の中国を舞台に、農民上がりの劉邦が、貴族出身の大丈夫、項羽を負かし、漢帝国を築くまでの軌跡。春秋時代に特有の、命に代えても恩義に報いる、という任侠の精神が数多に交差することで、何万もの人間が紡ぐ壮大な歴史が描かれている。

夢野久作全集 (1) / 中島河太郎, 谷川健一編

大岡山: B1F-一般図書 918.68/Y/1

奇人や狂人が生み出す独特のスリルやサスペンスが魅力の作品。

短編集なのですが、その中でも瓶詰の地獄という作品が僕は好きで、無人島にふたりで漂着した兄と妹の兄の視点から、次第に悩ましげに成長していく妹に対する凄まじいまでの葛藤が描かれています。たまらない気持になります。

日の名残り / カズオ・イシグロ著 ; 土屋政雄訳

大岡山: B1F-一般図書 933/1, すずかけ台: 2F-ペリパトス文庫 933.7/1

「文学作品というのは内容が難しそうで…」と思っている人には先ずこの本をおすすめします。

非常に読みやすい日本語訳で、徐々に明らかになっていく物語の全貌、語り手である執事の、かつての御主人様の回想を通じた成長は読んでいてわくわくします。

何だかよく分からないエンディングを迎える文学作品も多いですが、この作品は意味するところが非常に分かりやすく、また後味も悪くないと思います。

ハリー・ポッター (シリーズ) / J.K.ローリング作 ; 松岡佑子訳

大岡山: B1F-一般図書 933/R/1~7

すずかけ台: 3F-一般図書 933/R (1~3), 933.7/R (4),

2F-ペリパトス文庫 933.7/R (5~7)

世界中で大ヒットになったハリー・ポッターシリーズ。魔法使いの不思議な世界からの感動をもう一度体験しませんか。まだ読んでいない方も是非読んでみてください。

ソフィーの世界 : 哲学者からの不思議な手紙 / ヨースタイン・ゴルデル著 ; 池田香代子訳

大岡山: B1F-一般図書 949.63/G

予備知識がなくても哲学の代表的な部分をひとつと楽しみめる作品です。分かりやすく手軽に哲学の世界に入門することができます。私という存在とは、世界とはなんだろうか、という疑問に著者なりの答えも小説の形で描かれているのも面白いです。

蜘蛛女のキス / プイグ 著 ; 野谷文昭訳

大岡山: B1F-一般図書 968/R/16

未成年に対する性犯罪で投獄されているゲイ＝モリーナと、社会改革を目指す若き活動家＝ヴァレンティンが徐々に心を通わせていく物語。

政治的であることを拒否するモリーナと、政治的に生きることを命題として自らに課しているヴァレンティンが徐々に心を許しあう過程は、同性愛とか異性愛とかを越えて、あまりに純粹であまりに刹那的で、これこそが究極の恋愛なのだろうかと、心から感じ入ってしまいます。